

# 健康福祉学科カリキュラム

## 社会福祉コース

### A. 卒業要件と単位数

短期大学部を卒業するためには、①学生は2年以上在学し、かつ、②卒業に必要な単位数を取得（学則第15条）しなければなりません。この卒業に必要な単位数は次のように定めています。

表1 卒業に必要な単位数について

学科・コース	授業科目 区分	必要単位数		
		必修	選択	計
健康福祉学科 社会福祉専攻 社会福祉コース	教養科目	6	10	16 単位以上
	専門科目	6	40	46 単位以上
	計	12	50	62 単位以上

### B. 平成27年度 健康福祉学科 社会福祉コース 教養科目一覧表

科目名	授業形態	単 位	開講学年		社会福祉士 必 修	介護職員初任者研修課程 必 修	備 考
			1年	2年			
宗 教	講義	②	○				
共 生 論	講義	②	○				
文 学	講義	2	○				
哲 学	講義	2	○				
経 済 学	講義	2		○			
社 会 学	講義	2	○		選択必修①		P.40を参照
心 理 学	講義	2	○		選択必修①		P.40を参照
法 学 (日本国憲法)	講義	2	○				
権利擁護と成年後見制度	講義	2		○	選択必修②		P.40を参照
生 物 学	講義	2					
情報処理演習Ⅰ	演習	1	○				
情報処理演習Ⅱ	演習	1		○			
情報処理演習Ⅲ	演習	1	○				
英 語 Ⅰ	演習	①	○				
英 語 Ⅱ	演習	①	○				
英 語 Ⅲ	講義	2		○			
英 語 Ⅳ	講義	2		○			
英 語 Ⅴ	講義	2		○			大学等への 編入者向け
英 語 Ⅵ	講義	2		○			
健 康 科 学 論	講義	1	○				
体 育 実 技	実技	1	○				
就職支援講座(文章表現)	講義	2	○				
就 職 実 践 講 座	講義	2					

→ ○印は卒業必修

(注) 1年次開講科目は、2年次生も履修可能です。

(注) 授業科目は、休講になることがあります。

## C. 社会福祉コース 専門科目一覧

科目名	授業形態	単 位	開講学年		社会福祉士 必 修	介護職員初任者 研修課程必修	備 考
			1年	2年			
社会福祉概論Ⅰ	講義	②	○		必修		
社会福祉演習Ⅰ	演習	②	○				
社会福祉演習Ⅱ（総合演習）	演習	②		○			
社会福祉士関連科目（講義科目）							
医学概論	講義	2	○		選択必修①		P.40を参照
社会福祉概論Ⅱ	講義	2	○		必修		
社会福祉調査論	講義	2		○	必修		
ソーシャルワーク総論Ⅰ	講義	2	○		必修		
ソーシャルワーク総論Ⅱ	講義	2	○		必修		
ソーシャルワークの方法Ⅰ	講義	2	○		必修		
ソーシャルワークの方法Ⅱ	講義	2		○	必修		
ソーシャルワークの方法Ⅲ	講義	2		○	必修		
ソーシャルワークの方法Ⅳ	講義	2		○	必修		
地域福祉論Ⅰ	講義	2		○	必修		
地域福祉論Ⅱ	講義	2		○	必修		
福祉行財政と福祉計画	講義	2		○	必修		
福祉サービスの組織と経営	講義	2		○	必修		
社会保障論Ⅰ	講義	2	○		必修		
社会保障論Ⅱ	講義	2		○	必修		
高齢者福祉サービス論	講義	2	○		必修	必修	
介護福祉論	講義	2	○		必修	必修	
障害者福祉サービス論	講義	2	○		必修	必修	
児童・家庭福祉サービス論	講義	2	○		必修		
公的扶助論	講義	2		○	必修		
保健医療サービス論	講義	2	○		必修		
就労支援サービス論	講義	2		○	選択必修②		P.40を参照
司法福祉論	講義	2		○	選択必修②		P.40を参照
社会福祉士関連科目（実習・演習科目）							
ソーシャルワーク演習Ⅰ	演習	1	○		必修		
ソーシャルワーク演習Ⅱ	演習	1	○		必修		
ソーシャルワーク演習Ⅲ	演習	1		○	必修		P.40を参照
ソーシャルワーク演習Ⅳ	演習	1		○	必修		
ソーシャルワーク演習Ⅴ	演習	1		○	必修		
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	演習	1	○		必修		
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	演習	1		○	必修		
ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	演習	1		○	必修		セットで履修する
ソーシャルワーク実習	実習	4		○	必修		

→ ○印は卒業必修

科目名	授業形態	単位	開講学年		社会福祉士 必修	介護職員初任者 研修課程必修	備考
			1年	2年			
介護職員初任者研修課程関連科目							
介護の理解Ⅰ	講義	2	○			必修	
介護の理解Ⅱ	講義	2	○			必修	
生活支援技術Ⅰ	演習	2	○			必修	
生活支援技術Ⅱ	演習	1	○			必修	集中授業 (2月下旬～3月上旬)
専門関連科目							
障害者福祉概論	講義	2	○				社会福祉士を取得する 学生は履修すること
社会福祉の歴史	講義	2	○				
インテリア・デザイン論	講義	2	○				
福祉機器論	講義	2		○			
福祉環境論	講義	2	○			必修	
老人・障害者の心理	講義	2					
児童福祉論Ⅰ	講義	2					
児童福祉論Ⅱ	講義	2					
手話によるコミュニケーションⅠ	演習	1	○				
手話によるコミュニケーションⅡ	演習	1		○			
アクティビティ・サービス	演習	1	○				
視聴覚障害者コミュニケーション論	演習	2	○				
海外社会福祉事情	実習	1	○				
インターンシップ	実習	2	○				
ボランティアワーク	実習	2					
介護請求事務Ⅰ	講義	2		○			
介護請求事務Ⅱ	演習	1		○			

※社会福祉士取得のためには、選択必修①から1科目以上、選択必修②から1科目以上修得することが必要となります。  
詳細は、P.40を参照してください。

※授業科目は、休講になることがあります。

## 医療事務・秘書コース

## A. 卒業要件と単位数

短期大学部を卒業するためには、①学生は2年以上在学し、かつ、②卒業に必要な単位数を取得（学則第15条）しなければなりません。この卒業に必要な単位数は次のように定めています。

表1 卒業に必要な単位数について

学 科 ・ コ ー ス	授業科目 区 分	必 要 単 位 数		
		必修	選択	計
健康福祉学科 社会福祉専攻 医療事務・秘書コース	教養科目	6	10	16 単位以上
	専門科目	6	40	46 単位以上
	計	12	50	62 単位以上

## B. 平成27年度 健康福祉学科 医療事務・秘書コース 教養科目一覧表

科 目 名	授業形態	単 位	開講学年		備 考
			1 年	2 年	
宗 教	講義	②	○		
共 生 論	講義	②	○		
文 学	講義	2	○		
哲 学	講義	2	○		
経 済 学	講義	2		○	㊦
社 会 学	講義	2	○		㊦
心 理 学	講義	2	○		㊦
法 学(日本国憲法)	講義	2	○		㊦
権利擁護と成年後見制度	講義	2		○	
生 物 学	講義	2			
情報処理演習Ⅰ	演習	1	○		
情報処理演習Ⅱ	演習	1	○		
情報処理演習Ⅲ	演習	1		○	
英 語 Ⅰ	演習	①	○		
英 語 Ⅱ	演習	①	○		
英 語 Ⅲ	講義	2		○	
英 語 Ⅳ	講義	2		○	
英 語 Ⅴ	講義	2		○	
英 語 Ⅵ	講義	2		○	
健 康 科 学 論	講義	1	○		
体 育 実 技	実技	1	○		
就職支援講座(文章表現)	講義	2	○		
就 職 実 践 講 座	講義	1			

↳ ○印は卒業必修

(注) 1年次開講科目は、2年次生も履修可能です。

(注) 授業科目は、休講になることがあります。

### C. 医療事務・秘書コース 専門科目一覧

科目名	授業形態	単 位	開講学年		備 考
			1年	2年	
社会福祉概論Ⅰ	講義	②	○		㊦
社会福祉演習Ⅰ	演習	②	○		
社会福祉演習Ⅱ（総合演習）	演習	②		○	
医療事務・秘書関連科目					
医療事務基礎Ⅰ	講義	2	○		
医療事務基礎Ⅱ	講義	2	○		
医療事務基礎Ⅲ	講義	2	○		
医療事務基礎Ⅳ	講義	2	○		
医療事務基礎Ⅴ	講義	2	○		
医療事務基礎Ⅵ	講義	2	○		
医療秘書概論	講義	2	○		
医事コンピュータ演習Ⅰ	演習	1	○		
医事コンピュータ演習Ⅱ	演習	1		○	
医事コンピュータ演習Ⅲ	演習	1	○		
医事コンピュータ演習Ⅳ	演習	1		○	
医療事務実践Ⅰ	講義	2		○	
医療事務実践Ⅱ	講義	2		○	
調剤報酬請求事務	講義	2		○	
歯科医療事務	講義	2	○		
歯科医療事務Ⅱ	講義	2		○	
薬学入門	講義	2	○		
医事関係法規	講義	2		○	
薬事関係法規	講義	2		○	
医療情報システム	演習	1		○	
介護請求事務Ⅰ	講義	2		○	
介護請求事務Ⅱ	演習	1		○	
ホスピタリティコミュニケーション	講義	2		○	
DPC概論	講義	2		○	
医療データ解析演習	演習	1		○	
医療マネジメント論	講義	2		○	
経営情報論	講義	2		○	
情報技術	講義	2		○	
簿記会計入門	講義	2		○	
簿記会計実践	講義	2		○	
医療施設実習指導	演習	1	○		
医療施設実習	実習	2		○	

↳ ○印は卒業必修

(注) 授業科目は、休講になることがあります。

科目名	授業形態	単位	開講学年		介護職員初任者 研修課程必修	備考
			1年	2年		
専門関連科目						
社会福祉概論Ⅱ	講義	2	○			㊦
介護福祉論	講義	2	○			㊦
医学概論	講義	2	○			㊦
福祉環境論	講義	2	○			
インテリア・デザイン論	講義	2	○			
福祉機器論	講義	2		○		
保健医療サービス論	講義	2	○			
老人・障害者の心理	講義	2		○		
手話によるコミュニケーションⅠ	演習	1	○			
手話によるコミュニケーションⅡ	演習	1		○		
海外社会福祉事情	実習	1	○			
インターンシップ	実習	2	○			
視聴覚障害者コミュニケーション論	演習	2	○			

→ ○印は卒業必修

※社会福祉主事任用資格は、㊦の科目より3科目以上取得（注意：社会福祉概論は、Ⅰ・Ⅱ両方取得して1科目として数える）し、本学を卒業することにより、資格取得が可能になります。（詳細P.39参照）

※授業科目は、休講になることがあります。

## 介護福祉コース

### A. 卒業要件と単位数

短期大学部を卒業するためには、①学生は2年以上在学し、かつ、②卒業に必要な単位数を取得（学則第15条）しなければなりません。この卒業に必要な単位数は次のように定めています。

表1 卒業に必要な単位数について

学科・コース	授業科目区分	必要単位数		
		必修	選択	計
健康福祉学科 介護福祉専攻 介護福祉コース	教養科目	6	10	16単位以上
	専門科目	6	40	46単位以上
	計	12	50	62単位以上

### B. 平成27年度 健康福祉学科 介護福祉コース 教養科目一覧表

科目名	授業形態	単位	開講学年		介護福祉士資格 取得のための必修	備考
			1年	2年		
宗 教	講義	②	○			
共 生 論	講義	②	○			
文 学	講義	2		○		
哲 学	講義	2	○			
経 済 学	講義	2		○	必修	
社 会 学	講義	2	○		必修	
心 理 学	講義	2	○			
法 学 (日本国憲法)	講義	2		○	必修	
権利擁護と成年後見制度	講義	2		○		
生 物 学	講義	2				
情報処理演習Ⅰ	演習	1	○		必修	
情報処理演習Ⅱ	演習	1		○		
情報処理演習Ⅲ	演習	1		○		
英 語 Ⅰ	演習	①	○			
英 語 Ⅱ	演習	①	○			
英 語 Ⅲ	講義	2		○		
英 語 Ⅳ	講義	2		○		
英 語 Ⅴ	講義	2		○		大学等への 編入者向け
英 語 Ⅵ	講義	2		○		
健康科学論	講義	1		○		
体育実技	実技	1		○		
就職支援講座(文章表現)	講義	2	○			
就職実践講座	講義	1				

↳ ○印は卒業必修

(注) 1年次開講科目は、2年次生も履修可能です。

(注) 授業科目は、休講になることがあります。

## C. 介護福祉コース 専門科目一覧

### 介護福祉士資格取得科目

介護福祉士資格は、在宅や施設における高齢者や障がい者の介護を行う専門職の人材養成を目的として昭和62年に「社会福祉士及び介護福祉士法」の制定によってできた資格です。

介護福祉コースは、本学の健康福祉学科に属し、教養科目、社会福祉、介護の基礎科目と専門科目を学びます。

介護福祉士の資格をとるにはいくつかの方法がありますが、本学は、「社会福祉士及び介護福祉士法」第39条の第1項に基づき、介護福祉士養成校の認可を受けておりますので、本学在学中2年間に、必修科目、選択科目の中から、資格取得に必要な講義、演習、実習を通じて、所定の単位を履修することによって、卒業と同時に介護福祉士資格を得ることができます。

科目名	授業形態	単位	開講学年		介護福祉士資格取得のための必修	備考
			1年	2年		
社会福祉演習Ⅰ	演習	②	○			
社会福祉演習Ⅱ（総合演習）	演習	②		○		
社会福祉概論Ⅰ	講義	②	○			
社会福祉概論Ⅱ	講義	2	○			
社会福祉の歴史	講義	2	○			
介護請求事務	講義	2				
介護請求事務Ⅱ	演習	1				
手話によるコミュニケーションⅠ	演習	1	○			
手話によるコミュニケーションⅡ	演習	1		○		
ボランティアワーク	実習	2				
海外社会福祉事情	実習	1	○			
インターンシップ	実習	2	○			
社会保障論Ⅰ	講義	2	○		必修	
社会保障論Ⅱ	講義	2		○	必修	
人間の理解Ⅰ	講義	2	○		必修	
人間の理解Ⅱ	講義	2	○		必修	
介護の基本Ⅰ	講義	4	○		必修	
介護の基本Ⅱ	講義	2		○	必修	
高齢者介護の基本	講義	2	○		必修	
障害者介護の基本	講義	2		○	必修	
介護予防とリハビリテーションの基本	講義	2		○	必修	
コミュニケーション技術Ⅰ	演習	1		○	必修	
コミュニケーション技術Ⅱ	演習	1		○	必修	
日常生活介護技術Ⅰ	演習	2	○		必修	① 出席日数が $\frac{4}{5}$ に満たない場合は単位認定しない
日常生活介護技術Ⅱ	演習	1	○	○	必修	1年後期から2年前期開講科目 ① 出席日数が $\frac{4}{5}$ に満たない場合は単位認定しない
生活環境支援技術Ⅰ	演習	1	○		必修	① 出席日数が $\frac{4}{5}$ に満たない場合は単位認定しない
生活環境支援技術Ⅱ	演習	1		○	必修	① 出席日数が $\frac{4}{5}$ に満たない場合は単位認定しない
家庭生活基本技術Ⅰ	演習	2		○	必修	
家庭生活基本技術Ⅱ	演習	1		○	必修	

→ ○印は卒業必修



科目名	授業形態	単位	開講学年		介護福祉士資格 取得のための必修	備考
			1年	2年		
生きがい生活支援技術	演習	2		○	必修	
介護過程総論	講義	4	○		必修	
介護過程演習Ⅰ	演習	2		○	必修	
介護過程演習Ⅱ	演習	1		○	必修	
介護総合演習Ⅰ	演習	2	○		必修	① 出席日数が $\frac{4}{5}$ に満たない場合は単位認定しない
介護総合演習Ⅱ	演習	1		○	必修	① 出席日数が $\frac{4}{5}$ に満たない場合は単位認定しない
介護総合演習Ⅲ	演習	1		○	必修	
介護実習Ⅰ	実習	2	○		必修	
介護実習Ⅱ	実習	3	○		必修	
介護実習Ⅲ	実習	4		○	必修	
介護実習Ⅳ	実習	1		○	必修	
発達と老化の理解Ⅰ	講義	2	○		必修	
発達と老化の理解Ⅱ	講義	2	○		必修	
認知症の理解Ⅰ	講義	2		○	必修	
認知症の理解Ⅱ	講義	2		○	必修	
障害の理解Ⅰ	講義	2	○		必修	
障害の理解Ⅱ	講義	2		○	必修	
こころの理解	講義	2	○		必修	
からだの理解	講義	2	○		必修	
こころとからだのしくみⅠ	講義	2	○		必修	
こころとからだのしくみⅡ	講義	2	○		必修	
医療的ケアⅠ	講義	1	○		必修	② 出席日数が $\frac{5}{5}$ に満たない場合は単位認定しない
医療的ケアⅡ	講義	1	○		必修	② 出席日数が $\frac{5}{5}$ に満たない場合は単位認定しない
医療的ケアⅢ	講義	1	○		必修	② 出席日数が $\frac{5}{5}$ に満たない場合は単位認定しない
医療的ケア演習	演習	2		○	必修	

↳ ○印は卒業必修

※介護福祉士養成課程においては、法令により出席日数は、上記備考欄①、②のとおりと定められています。

上記備考欄に限らず、原則として全ての専門科目が対象となります。

(注) 授業科目は、休講になることがあります。

# 免許状（証）および資格取得について

## イ. 社会福祉主事任用資格

社会福祉主事は、社会福祉法第18条第3項・第4項に定める援護、育成又は更正の措置に関する事務を行う地方公務員に必要とされる資格です。本学卒業と同時にこの任用資格が得られ、地方公務員試験に合格した者の中から任用されます。また、多くの社会福祉施設は、この資格を採用条件としているケースが多くなっています。

なお、この任用資格を取得すると、介護支援専門員の実務研修受講試験を受験するときに必要とされる実務経験年数が5年になります。

この資格を取得するためには、以下の科目より3科目以上履修しなければなりません。

科目名	必修・選択の別	備考
法学	選択	
経済学	選択	
社会学	選択	
心理学	選択	
社会福祉概論Ⅰ・Ⅱ	選択	
社会福祉の歴史	選択	
社会保障論Ⅰ・Ⅱ	選択	
公的扶助論	選択	
児童福祉論Ⅰ・Ⅱ	選択	
児童・家庭福祉サービス論	選択	
高齢者福祉サービス論	選択	
障害者福祉サービス論	選択	
地域福祉論Ⅰ・Ⅱ	選択	
医学概論	選択	
社会福祉調査論	選択	
ソーシャルワークの方法Ⅰ	選択	
ソーシャルワークの方法Ⅱ	選択	
ソーシャルワークの方法Ⅲ	選択	
ソーシャルワークの方法Ⅳ	選択	
福祉サービスの組織と経営	選択	
介護予防とリハビリテーションの基本	選択	
介護福祉論	選択	

(注) 本学健康福祉学科を卒業した者で、勤務先などから「社会福祉主事任用資格」に必要な科目の履修の証明書（上記の科目のうちの3科目以上の履修が必要）を求められた場合は、「社会福祉主事任用資格証明書」を発行するので学生支援部に申し出てください。

### (東京都「社会福祉の手引」より)

**資格** 年齢20歳以上で、人格が高潔で思慮が円熟し社会福祉の増進に熱意があり、次のいずれかに該当する人の中から任用される。

- ①大学などで厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目を修めて卒業した人
- ②厚生労働大臣の指定する養成機関または講習会の課程を修了した人
- ③厚生労働大臣の指定する社会福祉事業従事者試験に合格した人（この試験は未実施）

**任用** 都では、一般採用職員の中からこの資格を持つ人を任用している。

## 〇. 社会福祉士国家試験受験資格科目

### (1) 社会福祉士とは

「社会福祉士及び介護福祉士法」で位置づけられた、社会福祉業務に携わる人の国家資格です。高齢化社会を迎え、社会福祉に関する問題は、複雑・多様化し、より多くの国民的課題になっています。その中で、専門的な知識と技術をもって、社会福祉施設や地域の相談機関などで、身体または精神上的障がいなどにより、日常生活を営むのに支障がある人の福祉に関する相談に応じ、助言・援助する専門職です。

この資格は、国家試験に合格しなければ得られません。そのためには、まず受験資格を得ることが必要です。本学では、在学中に指定科目を全て履修し、加えて、卒業後に厚生労働省の指定する施設において2年間以上、相談業務に携わることで受験資格を取得することができます。

### (2) 履修方法

本学で、受験資格を得るためには、在学中に下記の科目を履修することが必要です。なお、一部に選択科目がありますが、全て国家試験科目となっていますので、社会福祉士取得を希望する学生は、できるだけ下記の科目をすべて履修してください。

領 域	科 目 名	開講学年		社会福祉士取得のための必修
		1年	2年	
人・社会・生活と福祉の理解に関する知識	医学概論	○		左の3科目から1科目以上選択履修のこと
	心理学	○		
	社会学	○		
	社会福祉概論Ⅰ	○		必修
	社会福祉概論Ⅱ	○		必修
	社会福祉調査論		○	必修
相談支援の理念と方法に関する知識と技術	ソーシャルワーク総論Ⅰ	○		必修
	ソーシャルワーク総論Ⅱ	○		必修
	ソーシャルワークの方法Ⅰ	○		必修
	ソーシャルワークの方法Ⅱ		○	必修
	ソーシャルワークの方法Ⅲ		○	必修
	ソーシャルワークの方法Ⅳ		○	必修
地域福祉に関する知識と技術	地域福祉論Ⅰ		○	必修
	地域福祉論Ⅱ		○	必修
	福祉行財政と福祉計画		○	必修
	福祉サービスの組織と経営		○	必修
サービスに関する知識	社会保障論Ⅰ	○		必修
	社会保障論Ⅱ		○	必修
	高齢者福祉サービス論	○		必修
	介護福祉論	○		必修
	障害者福祉サービス論	○		必修
	児童・家庭福祉サービス論	○		必修
	公的扶助論		○	必修
	保健医療サービス論	○		必修
	就労支援サービス論		○	左の3科目から1科目以上選択履修のこと
	権利擁護と成年後見制度		○	
	司法福祉論		○	

領 域	科 目 名	開講学年		社会福祉士取得のための必修
		1年	2年	
実習・演習	ソーシャルワーク演習Ⅰ	○		必修
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	○		必修
	ソーシャルワーク演習Ⅲ		○	必修
	ソーシャルワーク演習Ⅳ		○	必修
	ソーシャルワーク演習Ⅴ		○	必修
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	○		必修
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		○	必修
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ		○	必修
	ソーシャルワーク実習		○	必修

### (3) 履修上の注意

講義の内容上、前記のほかに履修についての注意事項があります。

- ① 社会福祉士取得を希望する学生は、障害者福祉についてより詳しく学ぶため「障害者福祉概論」を履修してください。
- ② 「ソーシャルワーク演習Ⅴ」では、「ソーシャルワーク実習」の内容をもとに学習を進めますので、実習を履修してください。

### (4) ソーシャルワーク実習について

ソーシャルワーク実習は国家資格取得や専門知識・技術を深めるための大切な科目です。内容は各種福祉施設、福祉事務所、社会福祉協議会などで、職員より助言・指導を受けつつ、利用者と援助者との関わりや、従事者の役割などを現場で具体的に体験しながら学びます。それらは、自分自身の学習目標を確認し、能力や仕事への興味、関心などを得る機会になります。

また、実習では、職員とともに行動しながら学びますので、社会人の一員としてみなされます。従って、社会人、社会福祉従事者としてふさわしい言動が要求されることを認識し、実習に取り組むことになります。

#### 実習を履修するために

実習を行うためには、実習に関わる知識や技術の習得がされており、実習に対する目的意識が明確になっていることが必要です。このため、1年次から知識や技術の習得、実習の事前学習を行い、2年次の8～9月を中心に実習を実施します。

実習配属に関して上記の理由から、実習までの単位取得状況が以下の場合は、配属不可となります。

- ① ソーシャルワーク総論Ⅰ、ソーシャルワーク演習Ⅰ、ソーシャルワーク演習Ⅱのうち1科目でも単位が取得できない場合
- ② ソーシャルワーク実習指導Ⅰの単位が取得できない場合

また、授業の出席状況、学習態度、生活態度に問題がある場合は、配属不可とする場合があります。

## 八. 介護職員初任者研修（課程）

介護職員初任者研修（課程）では、在宅・施設における高齢者に対する、食事の支度・部屋の掃除・排泄や入浴介助など生活全般のサービスを提供するために必要な知識や技術を修得します。

本学では、東京都知事の指定を受けた介護職員初任者研修（課程）について学内講座を開講しています。この研修に必要な講座の全課程を修了（「実技試験」・「修了評価」含む）し、単位を修得することにより、卒業時に介護職員初任者研修（課程）の修了証明書を取得することができます。

高齢者施設等へ就職する際、この課程の修了者であることが採用条件となることがあります。

### （1）受講対象者

健康福祉学科 社会福祉コース 1年生（定員30名）

ただし、申込者が定員を超えた場合は、抽選で受講生を決定します。

### （2）カリキュラム及び開講方法

	科目名	開講学年		必修・選択の別	備考
		1年	2年		
①	介護福祉論	○		必修	社会福祉士必修科目
②	高齢者福祉サービス論	○		必修	社会福祉士必修科目
③	障害者福祉サービス論	○		必修	社会福祉士必修科目
④	福祉環境論	○		必修	
⑤	介護の理解Ⅰ	○		必修	
⑥	介護の理解Ⅱ	○		必修	
⑦	生活支援技術Ⅰ	○		必修	
⑧	生活支援技術Ⅱ	○		必修	

※①・⑤・⑦の一部の授業は、土曜日や補講期間に集中開講することがあります。

また、⑧については、2月下旬～3月上旬の間に集中開講します。

※この資格を取得するためには、上記必要科目の全時間出席が必要となります。

## 二. 医療・介護事務系資格

### （1）受講対象者

健康福祉学科 社会福祉コース、医療事務・秘書コース

### （2）目標資格

#### ・ 医科医療事務管理士（医療事務・秘書コース対象）

医療保険制度を理解し、正確に診療報酬（医科）を算定・請求できる知識とスキルを証明する資格です。国内初の医療事務資格として創設され、医療業界における高い知名度を誇ります。

#### ・ 診療報酬請求事務能力認定試験（医療事務・秘書コース対象）

この試験は、診療報酬請求事務に従事する方の資質の向上を図るために実施される全国统一試験です。数ある医療事務の試験の中でも認知度が高く、医療機関からは最も信頼度の高い試験といわれています。合格率は30%前後と、合格には高い水準の能力が求められます。

- ・ 医事コンピュータ技能検定試験（医療事務・秘書コース対象）

診療報酬請求など医療事務に医事コンピュータは欠かせません。この資格は医事コンピュータの操作技能と基本的なコンピュータの知識、そして医療事務の3分野の知識と技能を検定するものです。

- ・ 歯科医療事務管理士（医療事務・秘書コース対象）

歯科診療報酬の算定・請求に関する知識とスキルを証明する資格です。そのほかにも、歯の仕組みや口腔疾患など歯科診療についての基礎知識が必要になります。

- ・ 調剤事務管理士（医療事務・秘書コース対象）

保険薬局で調剤報酬の算定・請求事務に従事するのが、調剤事務管理士です。医師が診察し、保険薬局が薬を提供する「医薬分業」が進む中、調剤報酬の知識とスキルを備えた事務スタッフの活躍が求められています。

- ・ 日商簿記検定3級（医療事務・秘書コース対象）

日商簿記検定3級の資格は、企業の財務担当者に必要な基本的知識が身につく、商店や中小企業の経理事務に役立ちます。「履歴書に書ける資格」として企業からの評価が高く、ビジネス社会で活躍する上で大きな武器になります。

- ・ 介護事務管理士（医療事務・秘書コース、社会福祉コース対象）

介護サービスを提供する事業所や施設では、介護報酬の請求事務が必要です。介護保険制度を理解し、正確に介護報酬を算定して請求できるスタッフは介護サービス提供機関にとって欠かせない存在です。介護保険制度の仕組みをはじめとして、介護サービスの種類や内容、介護報酬の算定方法および請求書（レセプト）の作成方法について審査が行われます。

- ・ 秘書検定（医療事務・秘書コース対象）

秘書検定は、3級、2級、準1級、1級と4つのグレードがあり、試験では、秘書業務に必要な文書作成、ファイリング、スケジュール管理、接遇に必要なマナー、エチケットなどが問われます。

- ・ ITパスポート（医療事務・秘書コース対象）

ITパスポートとは、平成21年4月から新たに情報処理技術者試験に追加された情報技術に関する国家試験の1つです。情報技術は情報基盤の一翼を担っており、職業・職種を問わずあらゆる企業や組織においてITに関する基礎知識が必須となっています。スタートから数年が経過し知名度も高くなってきており、多くの企業や医療機関などで取得が推奨されています。

### (3) カリキュラム及び開講方法（社会福祉コース）

科目名	学年		目標資格
	1年	2年	
介護請求事務Ⅰ		○	介護事務管理士
介護請求事務Ⅱ		○	

### (4) カリキュラム及び開講方法（医療事務・秘書コース）

科目名	学年		目標資格
	1年	2年	
医療事務基礎Ⅰ	○		医科医療事務管理士
医療事務基礎Ⅱ	○		
医療事務基礎Ⅲ	○		
医療事務基礎Ⅳ	○		
医療事務基礎Ⅴ	○		
医療事務基礎Ⅵ	○		
医療事務実践Ⅰ		○	診療報酬請求事務能力認定試験（医科）
医療事務実践Ⅱ		○	
医事関係法規		○	
DPC概論		○	
医学概論	○		
医事コンピュータ演習Ⅰ	○		医事コンピュータ技能検定
医事コンピュータ演習Ⅱ		○	
医事コンピュータ演習Ⅲ	○		
医事コンピュータ演習Ⅳ		○	
医療秘書概論	○		秘書検定
ホスピタリティ・コミュニケーション		○	
歯科医療事務Ⅰ	○		歯科医療事務管理士
歯科医療事務Ⅱ		○	
調剤報酬請求事務		○	調剤事務管理士
薬学入門	○		
薬事関係法規		○	
介護請求事務Ⅰ		○	介護事務管理士
介護請求事務Ⅱ		○	
簿記会計入門		○	日商簿記検定3級
簿記会計実践		○	
経営情報論		○	ITパスポート
情報技術		○	

## ホ. 福祉住環境コーディネーター（２級・３級）

福祉住環境コーディネーター（２級・３級）の資格は、東京商工会議所検定資格で検定試験に合格することが必要です。この資格は、高齢者や障がい者の安全で快適な生活を支援するためのものです。住環境の改造や住宅設計、福祉用具等のコンサルタントあるいはコーディネーターとなります。平成11年からスタートした資格で、バリアフリー住宅、福祉用具等の分野で活躍できる人材の養成を目指した資格です。

下記の科目が、２・３級試験科目と共通しています。

科目名	学年		備考
	1年	2年	
社会福祉概論Ⅰ・Ⅱ	○		
高齢者福祉サービス論	○		
障害者福祉サービス論	○		
介護福祉論	○		
医学概論	○		
ソーシャルワーク総論Ⅰ・Ⅱ	○		
インテリアデザイン論	○		
福祉機器論		○	
福祉環境論	○		
地域福祉論Ⅰ・Ⅱ		○	

## へ. 福祉用具専門相談員（任用資格）

介護福祉士取得者・介護職員初任者研修課程修了者が関連の業務に就いた時、福祉用具専門相談員として名称を使用することができます。